

2010シーズン ナショナルセレクションシリーズ実施要領

2010年11月

JCFシクロクロス小委員会

- 1 主催 (財)日本自転車競技連盟
- 2 主管 開催地都道府県自転車競技連盟
該当大会主催者及び団体
- 3 協力 日本シクロクロス競技主催者協会 (AJOCC)

4 シリーズ大会

第1戦	キゴ山	北陸クロス	2010年	11月14日
第2戦	マキノ	関西クロス	2010年	11月21日
第3戦	霧が峰	信州クロス	2010年	12月 5日
全日本 選手権大会	びわ湖 マイアミランド	関西クロス	2010年	12月12日

5 対象カテゴリー

エリート男子	国内カテゴリー 1
エリート女子	国内カテゴリー-L1
U23 (エスポワール)	国内カテゴリー 1 (エスポワール)

6 競技規則 UCI最新ルールを適応する。

- 5.1.052 80%規則が適用されるかの決定は、主催者との協議の後、チーフ・コミセールによりなされる。レースの先頭競技者の第1周目のタイムより80%以下のいかなる競技者も、レースから除外される。この競技者はその周回の最後に、先頭競技者が最終周回にいる場合を除いて、この目的で設置されたゾーン (80%ゾーン) からレースを離れなければならない。UCI世界選手権大会とUCIワールドカップ大会において80%規則は適用されなければならない。
- 5.1.051 周回遅れとなった競技者は追抜かれた周回を完了しなければならず、フィニッシュ・ストレート前あるいは条項5.1.052が適用される場合はこれに示される「80%」ゾーン内に設置された出口から競技を離れなければならない。これらの競技者は、競技リザルトに、完走できなかった周回数を付して除外された順に表示されるものとする。
- 1.3.018 自転車の車輪は、タイヤも含めて最大70cmから最小55cmのあらゆる寸法を採用できる。シクロクロス用自転車ではタイヤの最大幅 (もっとも広い部分で計測する) は33 mmとし、またいかなる形式でもスパイクやスタットを組み込んで서는ならない。

7 エントリー

各地域のシリーズ戦の試合を用いるので各オルガナイザーへ申し込む。
ただし、ポイント該当大会である全日本選手権は各都道府県車連を經由してJCFへの申込みとなる。

8 ランキング

各大会の対象カテゴリー選手の上位10名には以下のポイントを与える。

<ポイント>

ナショナルセレクションシリーズ第1戦～第3戦及び全日本選手権大会においても同じポイントを用いてランキングする。
男子はエリートとU23の混走で順番、得点を割りあてるがシリーズランキングにはU23独自の得点配分をする。

順位	男子エリート	女子エリート	U23
1	120	120	60 p
2	60	60	30
3	50	50	25
4	40	40	20
5	30	30	15
6	25	25	13
7	20	20	10
8	15	15	8
9	10	10	5
10	5	5	3

尚、最終的に同一ポイントとなった場合は、各レースのポイントを二乗した換算で順位を出すこととする。更に同点の場合は、後の試合の上位者を上位とする。

9 成績の公表

レース後にJCFのWEBサイト、AJOCCのWEBサイトにて成績は公表される。

10 ナショナルチーム編成について

全日本選手権覇者 (エリート男子、女子、ジュニア男子) を中心とする編成。
又、ナショナルセレクションシリーズの総合ランキング上位選手についてもナショナルメンバー編成のノミネート選手となりうる。
尚、ジュニア女子は、ナショナルセレクションシリーズのランキング対象とはならないがエリート女子のカテゴリーに参加して競技力の優れている選手はナショナルメンバー編成にノミネートされる。